

子ども・若者の貧困

見えない貧困、知らない現実にも目を向ける

誰もが希望とチャンスを持てるために！

生まれ育った環境のため…
夢をあきらめた子どもたち

「お金がない」こと
だけが課題??

地域で、私たちにできることは？



第1部
2016年
1/16 (土)
13:30~15:30

～子どもの夢を奪わない社会をつくるために～
だれも知らない・子どもの貧困
～宮崎県の取材から～

◆ 講師: 新坂英伸さん (宮崎日日新聞記者)

第2部
2016年
1/31 (日)
13:30~15:30

～ただ今、中卒10代に伴走中～
自分が選んだ人生を！

◆ 講師: 坪井恵子さん (ストリートプロジェクト理事長)

第3部
2016年
2/14 (日)
13:30~15:30

～貧困は防げる！今、地域にできることは～
働く・暮らす・家族になる…若者の今

◆ 講師: 石井まことさん (大分大学経済学部教授)

- **会場** : 筑後市総合福祉センター (筑後市野町680-1)
- **申込み** : 下記へ、電話・ファックス・メール等にて
- **対象** : どなたでも参加ください <参加費無料>

社会福祉法人 **筑後市社会福祉協議会**

(〒833-0032筑後市野町680-1)

申込み
問い合わせ

TEL: 0942-52-3969 FAX: 0942-53-6677

Mail: chikugo-syakyo@athena.ocn.ne.jp

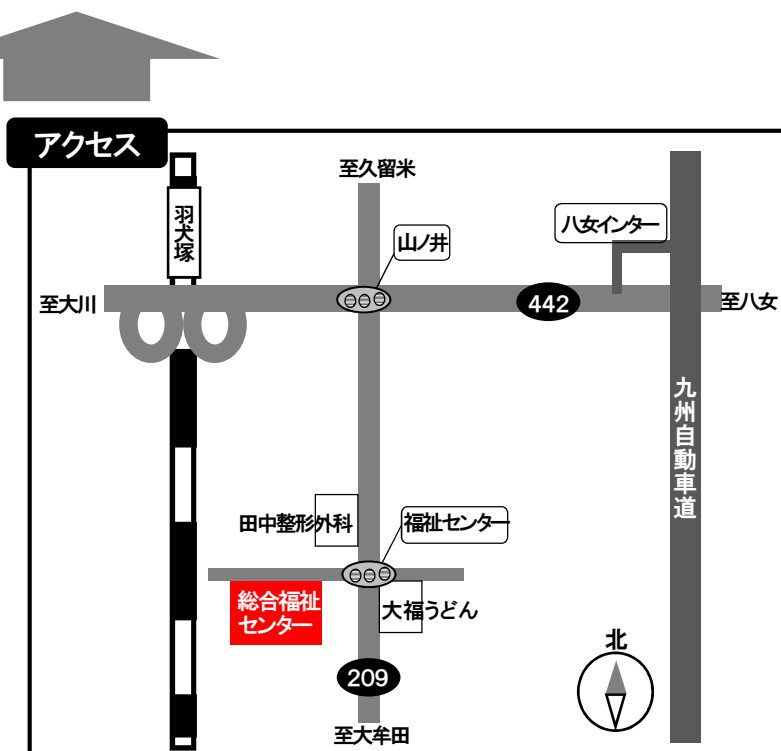


★受講申込書(FAX用)

FAX/0942-53-6677

お名前	
住所	
電話	

お名前	
住所	
電話	



《各回の内容》

1

1月16日(土) 講師:新坂英伸さん(宮崎日日新聞記者)

●だれも知らない・子どもの貧困～宮崎県の取材から～

★～子どもの夢を奪わない
社会をつくるために～

「子どもの貧困」をテーマにした長期連載を担当した新坂記者。貧困家庭の子どもや親たちと出会い、その声を直に聞いてきた。子どもたちとの付き合いは今も続いているという。

この時代に、これだけ多くの子どもたちが貧困に苦しめられ、夢をあきらめている、という現実…。なぜこのような課題が増えているのか…。貧困の連鎖を断ち切る術とは…。現場を見てきた記者だからこそ語る、なかなか見えにくい子どもたちの貧困の現実、そして、子どもたちとの付き合いを通して感じる、背景にある本当の課題を伝えていただく。

2

1月31日(日) 講師:坪井恵子さん(ストリート・プロジェクト理事長)

●自分が選んだ人生を！～ただ今、中卒10代に伴走中～

★～居場所がない…
自分を好きになれない～

坪井氏は、自身の娘の非行、不登校、中卒などをきっかけに、「生きづらさ」を抱えた若者への支援が必要だと感じ、学習支援や「ごちハウス」での食事提供などを通して、自立、夢の実現の手助けを始めた。今、進学のお機に恵まれず、困窮に苦しむ若者が増えているが、問題は「お金がない」ことだけではない。居場所がない、SOSを発信できない、自己肯定感が低い…。

講演では、ここを拠り所としている今の若者のリアルな姿を伝えて頂く。なぜ孤立・困窮するのか、自分・家族・社会・将来をどう捉えているか…。若者たちの声に耳を傾け、私たちの身近で、子どもや若者を孤立させない、生きやすい社会にするためにできることはないか考えたい。

3

2月14日(日) 講師:石井まことさん(大分大学経済学部教授)

●働く・暮らす・家族になる…若者の今

★～貧困は防げる！
今、地域にできることは～

不安定な雇用、地方の担い手不足の問題と、結婚したり実家を離れることができない若者…。今、若者や地域社会は、新たな課題に直面している。

石井氏は、地方の若者への仕事・結婚に関するインタビューをしたり、若者の就労問題や貧困予防について研究を進めている。貧困問題が生まれる背景、課題の本質とは何か…。そして「社会は我々が作り出しているものだから、社会は変えられる」と語る石井氏から、どのような支援が抜け落ちてきているのか、子どもや若者が貧困や孤立に苦しんだり、希望を捨ててしまわないで済むよう、そして誰もが可能性を広げられるような地域社会にするためにできることについて学びたい。